

2021年12月8日

報道関係者各位

株式会社オプティム
(東証一部、コード:3694)

オプティムのAIソリューションが8部門で市場シェアNo.1を獲得
デロイト トーマツ ミック経済研究所発刊の調査レポートにおいて

AI・IoT・ビッグデータプラットフォームのマーケットリーダーである株式会社オプティム(以下 オプティム)は、デロイト トーマツ ミック経済研究所株式会社*1(以下 デロイト トーマツ ミック経済研究所)が発刊した調査レポート「AI(ディープラーニング)活用の画像認識ソリューション市場の現状と展望【2021年度版】」において、オプティムのAIソリューションが、2020年度提供形態別売上高動向のSaaS市場動向「SaaS売上高(2019~2021年度)」、「SaaS利用料売上高(2019~2021年度)」、「SaaS関連サービス売上高(2019~2021年度)」、業種別売上高動向の「農林水産業売上高(2019~2021年度)」、「医療売上高(2019~2021年度)」、従業員規模別売上高動向の「300名未満売上高(2019~2021年度)」、用途別売上高動向の「保守・点検売上高(2019~2021年度)」、「診断補助売上高(2019~2021年度)」の8部門*2でシェア1位*3となりましたことをご知らせいたします。

OPTiM® AI Industry



■本調査レポート内容

本調査レポートは、活性化している AI(ディープラーニング)による画像解析市場の現状の市場規模や開発動向を明らかにし、中期的な市場の動向を明らかにすることを目的として、44 の企業が調査対象となっております。(調査期間:2021 年 7 月～9 月)

本調査レポートにおいて、オプティムの AI ソリューションが、8 部門の 2020 年度売上高において、シェア 1 位となりました。

■デロイト トーマツ ミック経済研究所調査、オプティム AI ソリューション 2020 年度シェア No.1 評価部門一覧

| 2020 年度シェア No.1 評価部門一覧 | | シェア |
|------------------------|------------------------------|-------|
| 提供形態別売上高動向 | | |
| SaaS 市場動向 | | |
| 1. | SaaS 売上高(2019～2021 年度) | 19.3% |
| 2. | SaaS 利用料売上高(2019～2021 年度) | 17.8% |
| 3. | SaaS 関連サービス売上高(2019～2021 年度) | 20.7% |
| 業種別売上高動向 | | |
| 4. | 農林水産業売上高(2019～2021 年度) | 59.1% |
| 5. | 医療売上高(2019～2021 年度) | 48.8% |
| 従業員規模別売上高動向 | | |
| 6. | 300 名未満売上高(2019～2021 年度) | 43.7% |
| 用途別売上高動向 | | |
| 7. | 保守・点検売上高(2019～2021 年度) | 16.7% |
| 8. | 診断補助売上高(2019～2021 年度) | 57.1% |

以下、オプティムの AI ソリューションをご紹介します。

■AI ソリューションのご紹介

◆クラウド AI 画像解析サービス「OPTiM AI Camera」とは

「OPTiM AI Camera」とは、既設の監視カメラを活用し、クラウドで画像解析を行う AI 画像解析サービスです。画像解析のための専用ハードウェア導入が不要なため、手軽にご利用いただけます。「OPTiM AI Camera」を利用することで、人数カウントや混雑状況可視化など、デジタルマーケティングや感染症対策を支援いたします。

詳しくは以下の Web サイトをご覧ください。

<https://www.optim.cloud/services/ai-camera/>

◆リアルタイム AI 画像解析サービス「OPTiM AI Camera Enterprise」とは

「OPTiM AI Camera Enterprise」とは、店舗や施設など業界別・利用目的別に設置されたさまざまな種類のカメラからデータを収集し、学習済みモデルを活用して画像解析を行うことでマーケティング、セキュリティ、業務効率などの領域を支援するパッケージサービスです。「OPTiM AI Camera Enterprise」では、「医療機関」や「小売」、「鉄道・交通機関」など 11 業種を対象とした計 300 種類を超える学習済みモデルを適用したメニューを備えており、低コストで実用化できるサービスを開始することが可能です。

詳しくは以下の Web サイトをご覧ください。

<https://www.optim.cloud/services/ai-camera-enterprise/>

◆圃場情報管理サービス「Agri Field Manager」

圃場情報管理サービス「Agri Field Manager」とは、露地栽培された作物を管理・分析を行うサービスです。本サービスでは、ドローンやスマートフォンで撮影した圃場や農作物の映像や画像を AI が分析することにより、病害虫の検知や発生予測などが行え、効率的に作物の生育管理を行うことができます。

詳しくは以下の Web サイトをご覧ください。

<https://www.optim.co.jp/agriculture/services/agri-field-manager/>

◆AI・IoT プラットフォームサービス「OPTiM Cloud IoT OS」

「OPTiM Cloud IoT OS」とは、AI と IoT を繋ぐプラットフォームサービスです。「OPTiM Cloud IoT OS」は IoT 端末をセキュアに管理・制御し、IoT 端末より取得したデータの蓄積や分析、各種 AI の活用、さまざまなクラウドサービスとの連携を可能とします。さらに、専用 ID 管理、複数企業での協働を支えるアクセス制御機構、アプリケーション販売機能により、オープンプラットフォームのビジネス基盤としても利用いただけるだけでなく、新規プラットフォームの立上げ(OEM 提供を含む)やアプリケーション開発・販売の効率的な運用支援も提供いたします。

詳しくは以下の Web サイトをご覧ください。

<https://www.optim.cloud/platform/>

※1 本社:東京都千代田区、代表取締役:有賀 章

※2 「AI(ディープラーニング)活用の画像認識ソリューション市場の現状と展望【2021 年度版】」において、発刊元のデロイト トーマツ ミック経済研究所により発表された項目のうち、数値や結果として発表されているものを部門として OPTiM が定義し、集計した総数。

※3 出典:デロイト トーマツ ミック経済研究所 2021 年 9 月 29 日発刊、「AI(ディープラーニング)活用の画像認識ソリューション市場の現状と展望【2021 年度版】」(<https://mic-r.co.jp/mr/02190/>)より。

【オプティムの目指す、オプティマル事業とは】

～Optimal【形】最適な、最善の、最も有利な～

急速なインターネット普及に伴い、これまでネットを利用したことのないユーザーがネットを利用する機会が増えており、このユーザー層にとって現状のネットは必ずしも使いやすいものではありません。このような状況にあって、ネットを空気のように快適で、息をするように無意識に使えるサービス・インフラに変えていく。オプティマル事業とは、そのためのオプティム独自の最適化技術によるサービス事業の総称です。

製品情報: <https://www.optim.co.jp/services>

Facebook ページ: <https://www.facebook.com/optimjpn>

Twitter ページ: https://twitter.com/optim_jpn

【株式会社オプティムについて】

商号: 株式会社オプティム
上場市場: 東京証券取引所市場第一部
証券コード: 3694
URL: <https://www.optim.co.jp/>
OPTiM SAGA: 佐賀県佐賀市本庄町 1 オプティム・ヘッドクォータービル
(佐賀本店)
OPTiM TOKYO: 東京都港区海岸 1 丁目 2 番 20 号 汐留ビルディング 21 階
(東京本社)
OPTiM KOBE: 兵庫県神戸市中央区小野柄通 7 丁目 1 番 1 号 日本生命三宮駅前ビル 11 階
代表者: 菅谷 俊二
菅谷 俊二
主要株主: 東日本電信電話株式会社
富士フイルムビジネスイノベーション株式会社
設立: 2000 年 6 月
資本金: 443 百万円
主要取引先: NTT コミュニケーションズ株式会社、株式会社 NTT ドコモ、株式会社大塚商会、
キヤノンマーケティングジャパン株式会社、KDDI 株式会社、株式会社小松製作
所、ソフトバンク株式会社、西日本電信電話株式会社、パナソニック ソリューショ
ンテクノロジー株式会社、東日本電信電話株式会社、富士フイルムビジネスイノ
ベーション株式会社、リコージャパン株式会社など(五十音順)
事業内容: ライセンス販売・保守サポートサービス(オプティマル)事業
(IoT プラットフォームサービス、リモートマネジメントサービス、サポートサービ
ス、その他サービス)

【Copyright・商標】

※ 記載の会社名および製品名は、各社の登録商標および商標です。

※ 本プレスリリースに記載された情報は、発表日現在のものです。商品・サービスの料金、サービス内容・仕様、お問い合わせ先などの情報は予告なしに変更されることがありますので、あらかじめご了承ください。

【本件に関する報道機関からのお問い合わせ先】

株式会社オプティム 広報・IR 室 村上

TEL: 050-1743-2263 FAX: 03-6435-8560

E-Mail : press@optim.co.jp

OPTiM Cloud IoT OS サービスページ: <https://www.optim.cloud/>